

A 会 場

10月11日 【分 離】 — (9 時 から) —

IA1 ルテニウムの電気泳動と溶媒抽出 (20)

(広大理・近大原研) 山本勇麓・熊丸尚宏・○鎌田俊彦・秋山正人・原田武夫

IA2 Tetraphenylarsonium Chloride によるRu酸根の抽出 (才II報) (20)

(阪大工・広大理・近大原研) 品川睦明・山本勇麓・○原田武夫・古島一敬・

安土恵祐

IA3 焦点クロマトグラフ法の研究 (20) Ru の挙動 (20)

(阪大工) ○大吉 昭・大吉債美子・品川睦明

IA4 放射性ルテニウムからロジウム分離 (15)

(原研) ○小林義威

IA5 照射酸化トリウムからウラン-233のアミン抽出 (15)

(原研) 石森富太郎・木村 幹・○小野麗子

IA6 シュウ酸アンモニウムによるTBP相中ウランの回収 (20)

(原研) ○吾勝永子

IA7 核分裂生成物よりZr-NbおよびCsの分離 (15)

(原研) ○木村 幹・小野麗子・吾勝永子

IA8 フエロシアン銅-陰イオン交換樹脂による水溶液中の放射性セシウム分離 (20)

(放医研) ○渡利一夫・今井靖子・伊沢正実

IA9 無機イオン交換体薄層クロマトグラフィーによる放射性Na-Rb-Csの分離 (15)

(原研・神奈川県工試) 村上悠紀雄・○牧 康行

IA10 Pa-233の石英粉末カラムによる分離精製 (15)

(金沢大理) 阪上正信・○阿部正男

— (1 3 時 から) —

IA11 酢酸アンモニウム-有機溶媒による⁹⁰Sr から⁹⁰Yの陽イオン交換分離 (20)

(名工試) ○河島達郎

IA12 無担体希土類元素の定量的分離 (20)

(原研) ○夏目晴夫・佐藤 忠

IA13 希土類元素のGradient Elutionによる分離 (20)

(京大工研) 西 朋太・○藤原一郎・宮村 明

- 1A14 金属ビスマス中に生成したポロニウム-210の分離(20)
 (阪大工) 品川睦明・根津弘幸・○室松昭彦
- 1A15 焦点クロマトグラフ法の研究(19)²³⁸Npの挙動(15)
 (阪大工) ○大吉 慎美子・大吉 昭・品川睦明
- 1A16 TTAを含む吸着剤による放射性核種の分離(20)
 (放医研) ○河村正一・黒滝克己・伊沢正実
- 1A17 個体置換法による炉水中のF-18, Cu-64の分離(20)
 (原研) 本島健次・○坂東昭次・照山 忠
- 1A18 錯生成の固-液相間分配(共沈殿)に及ぼす効果(20)
 (京大化研) 重松恒信・田伏正之・松井正和・○宗像 恵
- 1A19 アルキル硫酸ナトリウムの泡による放射能汚染除去(II) コバルト錯イオンの選択吸着(20)
 (九大理) ○師井義清・松浦良平
- 1A20 Electrochemical Deposition 法による極微量ポロニウム分析の検討-1(20)
 (放医研) ○阿部道子・滝本いづみ・渡辺博信・阿部史朗
- 1A21 極低濃度における放射性同位体の溶存状態の研究(2) バリウムおよびランタンの遠心分離について(15)
 (原研) ○佐藤 忠・市川富士夫

10月12日 【放射活性化分析】 —(9時から)—

- 2A22 中性子放射化分析による硫化亜鉛ならびに亜鉛中の銅の定量(20)
 (立教大原研) ○戸村健児・樋口英雄
- 2A23 原子炉利用による競合反応を伴う場合の放射化分析法(20)
 (原子力産研) ○加藤英正
- 2A24 即発ガンマ線測定法によるホウ素の分析(アメリシウム・ベリリウム中性子源使用)(20)
 (甲南大理) ○日下 譲・柴川政彦・辻 治雄
- 2A25 高速中性子によるフェロシリコン中の酸素の放射化分析(20)
 (日本電工・金材研) ○千葉 実・井上博之
- 2A26 生体試料中の水銀の放射化分析(才2報)(15)
 (原子力事業) 谷 彰・○長尾博之

- 2 A 2 7 生物体中の放射性ヨウ素の分析法 (20)
 (原研・RI研修所) 河波学美・久保興子・○村上悠紀雄
- 2 A 2 8 同位体交換法によるヨウ素の放射化学分析 (20)
 (東教大理・東女医大) 池田長生・○岩佐靄子・天野貞代
- 2 A 2 9 モリブデナイト中のレニウムの放射化分析 (20)
 (金沢大理) 木羽敏泰・寺田喜久雄・○大崎 進
- 2 A 3 0 光核反応による希土類元素の放射化と分析への利用 (20)
 (東北大理) 岡 好良・○加藤豊明・永井 巖
- 2 A 3 1 光核反応によるオー遷移金属元素の放射化 (20)
 (東北大理) 岡 好良・○加藤豊明・野村紘一

【溶液化学・放射性物質の挙動】 — (13時から) —

- 2 A 3 2 ^{144}Ce (III) - DTPA 錯体の β 壊変による化学的效果 (20)
 (東北大理) 塩川孝信・○大森 巍
- 2 A 3 3 ^{144}Ce (III) - EDTA 錯体の水溶液における β 壊変による化学的效果 (20)
 (東北大理) 塩川孝信・○木戸寛明・大森 巍
- 2 A 3 4 ^{144}Ce (III) - EDTA 錯体の固相における β 壊変による化学的效果 (20)
 (東北大理) 塩川孝信・○工藤博司・大森 巍
- 2 A 3 5 希土類キレート化合物における希土類の β 壊変に伴なう化学的效果の研究 (I)
 (^{177}Yb - ^{177}Lu) - EDTAおよびCyDTA系 (20)
 (阪府放中研・東大核研・原研高崎) ○朝野武美・岡田 聰・坂本 浩
 谷口節男・小林康司
- 2 A 3 6 希土類キレート化合物における希土類の β 壊変に伴なう化学的效果の研究 (II)
 (^{171}Er - ^{171}Tm) - CyDTA系 (20)
 (阪府放中研) 朝野武美・岡田 聰・○谷口節男・劔 実夫
- 2 A 3 7 3価ウラニウムイオンに関する研究 (II) イオン交換性について (15)
 (東北大金研) 鈴木 進・○佐藤明子
- 2 A 3 8 テクネチウムのハロゲン錯体 (20)
 (京大理) ○藤永太郎・小山陸夫・寒竹嘉彦
- 2 A 3 9 プロトアクチニウムの化学-IV . TTA-ベンゼン抽出法による塩酸中Pa (IV)の
 挙動 (20)
 (東北大金研) 鈴木 進・○三辻利一

2 A 4 0 アクチニド元素のN-ベンゾイルフェニルヒドロキシルアミン錯塩について (20)

(原研) 上野 馨・○星三千男

2 A 4 1 水溶液における $G_m(V)$ の挙動 (20)

(原研) ○吾勝常勲

2 A 4 2 ポロニウムおよびビスマス-210の溶存状態 (20)

(静大理) ○波多江一八郎・原 清・森 紀之

10月13日 【溶液化学・放射性物質の挙動】

— (9 時 から) —

3 A 4 3 フエロシアン化亜鉛沈殿に対する放射性アンチモンの挙動 (20)

(静大放射研) 神原富尙・○柏平伸幸・小笠原暢久

3 A 4 4 放射性鉄の化学的行動(その5) (20)

(静大放射研) 神原富尙・○長谷川園彦・鈴木啓子・古橋弘子

3 A 4 5 Determination of Some Thermodynamic Quantities for the Distribution of Ions Between Organic Solutions of Alkylammonium Salts and Aqueous Electrolyte Solutions by using Radioisotopes, (15)

(M.I.T., イタリア原研・原研) ○G, Scibona, J, Byrum, K, Kimura, J, Irvine

3 A 4 6 溶液中の同位体の算定法の基礎 (20)

(東工大原子炉研) 垣花秀武・○高橋紀美子

3 A 4 7 極微の反応量測定に対するラジオアイソトープの利用, 水溶液中におけるドデシル硫酸ナトリウムの非常におそい加水分解速度の測定 (20)

(都立大理) ○村松三男・井上満男・佐々木恒孝

3 A 4 8 水-有機溶媒混合系におけるハロゲンのイオン交換(I)アセトン-硝酸ナトリウム溶液による分配係数 K_d の変化 (15)

(武蔵工大原研) ○丸山芳明

3 A 4 9 種々の有機溶媒と水溶液との間のラドンの分配 (20)

(東京理大・東大理) 関根達也・○島田文武・榎 清彦・山崎 昶

3 A 5 0 キセノン有機溶媒抽出(III) (20)

(東大理・立教大原研) 浜口 博・○小沼直樹・小方 厚・戸村健児

3 A 5 1 液体アンモニア溶液中での微量放射性核種の挙動 (20)

(名工大) ○ 杉下 竜 一郎

3 A 5 2 放射性同位体を用いたアマルガム交換反応の研究, オ 2 報, 各種溶液中における金属水銀と他種イオンとの交換反応 (20)

(原研) ○ 岡下 宏

B 会 場

10月11日 【反跳化学・メスバウワー・放射線効果・核化学】

— (9 時 から) —

- 1 B 1 よう素酸塩及び関連化合物のホットアトム化学 (オ1報) $(n, 2n)$ 反応によつて生成する ^{126}I の酸化状態 (20)
(理研) 齊藤信房・○安部文敏
- 1 B 2 臭化エチルのベンゼン溶液における (n, γ) 反応の化学的効果 (20)
(東北大理) 塩川孝信・佐藤敏郎・伊沢郡蔵・○近藤健次郎・佐藤光史
- 1 B 3 次リン酸塩のホットアトム化学 (20)
(九大理・京大原子炉) 大橋 茂・○与座範政・氏本菊次郎・木曾義之
- 1 B 4 ビリジーン-芳香族化合物系における反跳トリチウムの反応 (20)
(原研) ○岡本次郎
- 1 B 5 セレンのホットアトム化学 (15)
(理研) ○稻荷田万里子
- 1 B 6 イオン交換樹脂系のホットアトム化学 (オ8報) $\text{Cr}(\text{C}_2\text{O}_4)_3^-$ における初期収率 (20)
(立教大原研) 松浦辰男・○佐々木喬
- 1 B 7 イオン交換樹脂系のホットアトム化学 (オ9報) $\text{Co}(\text{NO}_2)_6^{3-}$, $\text{Co}(\text{CN})_6^{3-}$, $\text{Co}(\text{C}_2\text{O}_4)_3^{3-}$ イオン形 (20)
(立教大原研・金沢大理) 松浦辰男・○橋本哲夫
- 1 B 8 コバルト錯塩のホットアトム化学 (オ20報) コバルト錯塩のガンマ線分解 (20)
(東大理) 齊藤信房・○富永 健
- 1 B 9 ヘキサアンミンコバルト (III) クロム酸塩における反跳効果について (20)
(東教大理) ○池田長生・齊藤健治
- 1 B 10 トリソーロ-フェナントロリニルテニウム (II) 塩のホットアトム化学 (オ1報) (20)
(立教大理・原研) 奥野久輝・石森達二郎・山寺秀雄・佐々木喬・
○佐々木研一

— (1 3 時 から) —

- 1 B 11 フタロシアニン系錯塩における反跳反応模型 (20)
(原研) ○吉原賢二

1 B 1 2 ^{235}U (nth, f) における fission yield と全反跳運動エネルギーとの関係
(20)

(原研) ○石森富太郎・星三千男・H. Münzel (KFK)

1 B 1 3 中性子照射による有機リチウム化合物の反応(20)

(東大理) ○森川尚威・斉藤智雄・大橋国雄・島村 修

1 B 1 4 簡易 Mössbauer スペクトル測定装置の試作とその酸化鉄-グレアム塩系への適用(20)

(九大理) ○加茂睦和・高島良正・大橋 茂

1 B 1 5 メスbauer効果の化学への応用(オ4報) グラファイト, 塩化鉄分子化合物におけるメスbauer効果(20)

(東大理・お茶の水大理) 斉藤信房・○富永 健・大江洋一・佐野博敏

1 B 1 6 核 γ 線共鳴の化学への応用(オ8報)(20)

(お茶の水女子大理) 佐野博敏・○荒谷美智・大矢とし江

1 B 1 7 鉄化合物のメスbauer効果(20)

(日本原子力事業) 下島 光・兵頭宏道・○松島安義

1 B 1 8 縮合リン酸の ^{32}P 交換に対する放射線効果(15)

(東大教養) ○松浦二郎・栗村芳実

1 B 1 9 $\text{Pr}^{141} + \text{P}$ 反応の放射化学的研究(20)

(阪大理) ○福島昭三・飯沢克幸・久米三四郎

1 B 2 0 $^{142}\text{Ce} + \text{d}$ 反応の解析(20)

(阪大理・京大理・東北大金研・京大工研) ○音在清輝・久米三四郎・

小山睦夫・三辻利一・西朋 太・藤原一郎

1 B 2 1 核子結合の本質と同位体の安定, 嬗变性(20)

(国士館大工) ○小田切瑞穂

10月12日 【核分裂・炉化学・その他】

— (9時から) —

2 B 2 2 U (nth, f) 反応における $^{86}\text{b}-126$ の核分裂収率(20)

(原研) ○物井澄子・鈴木敏夫

2 B 2 3 ウラン-238の自発核分裂(その1)(20)

(原研) ○石森富太郎・上野 馨・木村 幹・吾勝永子・小林義威・

吾勝常勲・小野麗子・星三千男・薄羽美枝

- 2 B 2 4 ウラン-238の自発核分裂(その2) (20)
 (原研) 石森富太郎・○上野 馨・木村 幹・吾勝永子・小林義威
 吾勝常勲・小野麗子・星三千男・薄羽美枝
- 2 B 2 5 ウランの核分裂における ^{148}Pm の核分裂収率 (20)
 (原研) ○梅沢弘一
- 2 B 2 6 (n, γ) 反応により製造する精製 RI 中の不純物, カルシウム, コバルト, クロム,
 ターゲットの検討 (20)
 (原研) ○高橋智子・山林尚道・中村治人・天野 恕
- 2 B 2 7 Au-198中のAu-199について (20)
 (原研) ○山林尚道・中村治人・天野 恕
- 2 B 2 8 JRR-3内の中性子束および中性子エネルギーの分布について (20)
 (原研) 天野 恕・○中村治人・四方英治・山林尚道・久保田益充
 高橋智子
- 2 B 2 9 Threshold法によるKUR圧送管中の高速中性子束および中性子スペクトル測定
 (15)
 (京大原子炉) ○岩田志郎・赤星光彦・西川佐太郎・木曾義之・
 田中愛子・笹島和久・脇 朝子・松下録治・小高久男
- 2 B 3 0 LiトリフトGe detector による核分裂生成物の γ -スペクトルの測定 (15)
 (東芝中研) ○大井 昇・高橋誠一・杉田 徹・小林哲二
- 2 B 3 1 核分裂ガス拡散ループ(I)装置の概要 (20)
 (東北大・原研) 矢島聖使・○亀本雄一郎・柴 是行・山岸 滋・
 福田 健・高橋良寿・谷藤隆昭

— (1 3 時 から) —

- 2 B 3 2 核分裂ガス拡散ループ(II)照射試料部の中性子束測定 (20)
 (東北大・原研) 矢島聖使・亀本雄一郎・柴 是行・半田宗男・
 山岸 滋・○福田 健・高橋良寿・谷藤隆昭
- 2 B 3 3 核分裂ガス拡散ループ(III)放出されたF.P.ガスの γ 線スペクトル (20)
 (東北大・原研) 矢島聖使・亀本雄一郎・柴 是行・半田宗男・
 ○山岸 滋・福田 健・高橋良寿・谷藤隆昭
- 2 B 3 4 核分裂ガス拡散ループ(IV) Fission rateとF.P.ガスの放出率との関係
 (20)

- (東北大・原研) 矢島聖使・亀本雄一郎・○柴 是行・半田宗男・
山岸 滋・福田 健・高橋良寿・谷藤隆昭
- 2 B 3 5 核分裂ガス拡散ループ(V) 試料温度とF・P・ガスの放出率の関係(20)
(東北大・原研) 矢島聖使・亀本雄一郎・柴 是行・○半田宗男・
山岸 滋・福田 健・高橋良寿・谷藤隆昭
- 2 B 3 6 UO_2 単結晶中の不揮発性核分裂生成物の拡散(V) (15)
(東芝中研・原子力事業) ○大井 昇・高木仁三郎・大和田紀男
- 2 B 3 7 放射性希ガスの固定化の研究(II) イオン衝撃されたキセノン-133の銅中の飛程
(20)
(原研) ○市坡純雄・川崎美知子
- 2 B 3 8 F-18 標識無水フッ化水素の合成法(20)
(理研) 野崎 正・○田中洋子
- 2 B 3 9 F-18 標識芳香族化合物の合成(20)
(理研) ○野崎 正・田中洋子
- 2 B 4 0 海洋生物中のZn-65とZnの濃縮率(20) (中止)
(原研・東大) ○亀田和久・加藤 清・岡本利夫・檜山義夫・清水誠
- 2 B 4 1 無機含水塩結晶の生成および脱水過程におけるトリチウムの同位体効果(20)
(広大理) 楠宜田久男・○平賀一弘・田中春彦・村上謙一
- 2 B 4 2 固体表面吸着分子と溶液中分子間の同位体交換(20)
(九大理) ○十時 稔・黒木 徹・松浦良平

10月13日 【測定・フォルアウト・その他】

— (9時から) —

- 3 B 4 3 U-232の調製と天然 α 放射体逐次定量法の改良(20)
(金沢大理) 阪上正信・○小村和久
- 3 B 4 4 U^{234}/U^{238} による年代測定法の一試案(20)
(岡山大・温研) ○梅本春次
- 3 B 4 5 ウラン・イオニウム法による年代測定(20)
(原研) ○脇田 宏・野口正安
- 3 B 4 6 宇宙線の μ 中間子で出来る岩石中の Al^{26} (20)
(東大原子核研) 田中重男・○坂本 浩・植本道子

- 3B47 ^{230}Th の定量と $^{230}\text{Th}/^{234}\text{Th}$ の測定について(20)
 (早大理工研) ○黒沢龍平
- 3B48 中共から来たフォールアウトの放射化学的性質(15)
 (気象研) 三宅泰雄・猿橋勝子・杉村行勇・葛城幸雄・○金沢照子
- 3B49 Sr-90とCs-137の降下(15)
 (気象研) 三宅泰雄・○葛城幸雄
- 3B50 固体試料の微弱ガンマ及びX線測定について(20)
 (東大物性研理研) 堀江絹子・中川英毅・○本田雅健・島 誠
- 3B51 Sheet Scintillationによるトリチウムの放射能計数, オ3報 Scintillator SheetとPrismの併用による端窓型計数法(20)
 (日本無線医理学研・都立大理) ○村松三男・徳永 昇・小谷野 明
- 3B52 γ 線照射されたポリリン酸ナトリウムの電子スピン共鳴(20)
 (広大理・京大原子炉・東京電気精機KK) 三浦政治・○長谷川明紀・
 福井常則・東村武信
- 3B53 速中性子放射化法によるアルミニウム中の酸素の定量(20)
 (東芝中研・日軽金総合研) 藤井 勲・武藤治夫・佐藤正志・高田紘一・
 山岡壮太郎

特別講演 — (10月13日13時から大学会館講堂で) —

1. 放射線障害の分子的基礎

広島大学教授 柴谷篤弘

2. 同位体の化学的分離の諸問題

東京工業大学教授 垣花秀武

3. The Development of
 Activation Analysis
 Techniques and
 Application to Crime
 Detection

Univ. of Toronto
 (Associate Proff.) Dr. R. E. Jarvis

4. 反跳現象と放射化学

東京大学教授 斉藤信房

懇親会 — (10月13日18時から大学会館ホールで) —

会費約900円、多数のご参加をお待ちしております。なお、会費は当日会場受付でいただきます。

見学会 — (10月14日9時から17時まで) —

バスにて広島大学発 — 原爆資料館 — ABCO — 宮島 — 宮島駅(山陽本線) — 広島駅にて解散

展示会 — (10月11日から13日まで会場にて) —

放射線測定器および関連理化学機器メーカーからの出品を展示します。